



# 令和8年産 麦作情報 (Vol.2)

令和8年2月24日  
宮城県石巻農業改良普及センター  
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999  
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

今後のポイント: 麦踏み、追肥、雑草防除、排水対策

## 1 気象経過

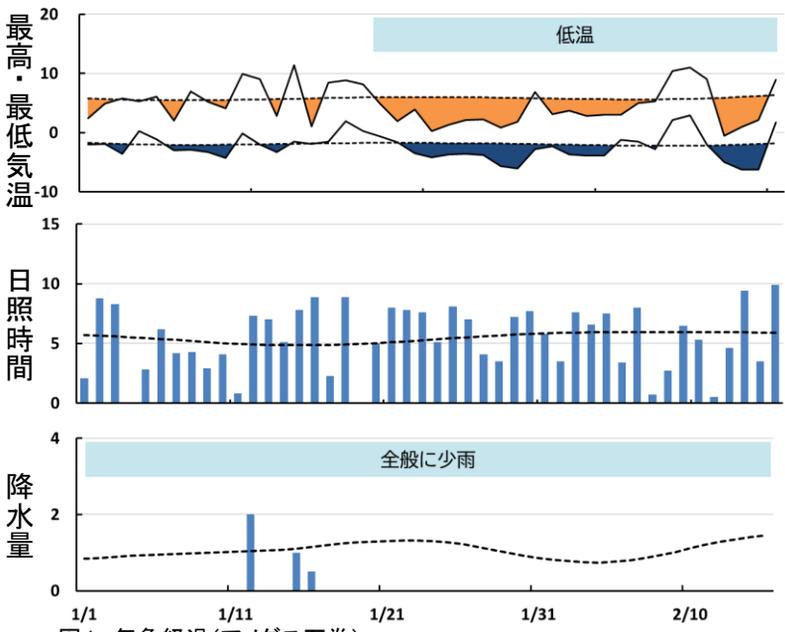


図1 気象経過(アメダス石巻)  
※上:最高・最低気温、中:日照時間、下:降水量、点線は平年値

### ◆1か月予報 (2/21 - 3/20)

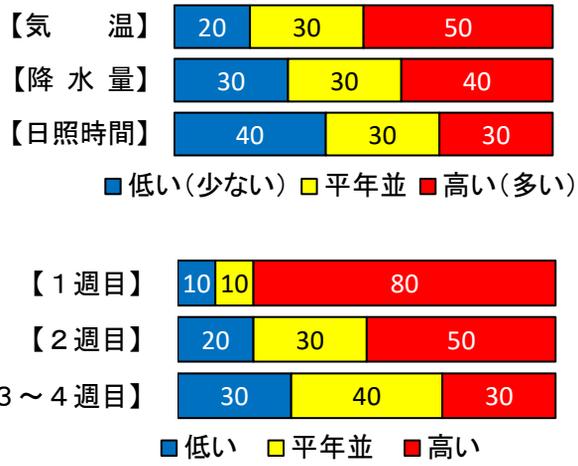


図2 季節予報(2/19 仙台管区気象台発表)  
※ 上図: 1か月の気温、降水量、日照時間予報  
下図: 週ごとの気温予報

### ◆気象経過

- 平均気温…1月は低く(平年差-0.6℃)、2月前半は高く(平年差+0.9℃)となりました。
- 日照時間…1月(平年比99%)、2月前半(平年比94%)ともに平年並みとなりました。
- 降水量…1月(平年比28%)、2月前半(平年比0%)ともに少雨傾向となりました。

## 2 生育調査ほの生育状況(2月12日現在)

- 播種の遅れと、1月後半からの低温が影響し、全てのほ場で大幅に生育が遅れています。
- 草丈は、全てのほ場で平年より非常に短い傾向です。
- 茎数も同様に、全てのほ場で平年より非常に少ない傾向です。
- 幼穂長は、シュンライとミノリムギが前年・平年を下回っており、シラネコムギで平年並みかやや平年より短い傾向です。

表1 生育調査ほ 2月12日調査結果

品種	調査ほ (旧市町)	草丈(cm)			茎数(本/㎡)			幼穂長(mm)			葉色(GM)	
		本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差
シュンライ	給人町 (桃生)	7.1	63%	48%	162	24%	20%	0.4	-0.5	-1.6	38.6	0.8
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	8.0	63%	68%	262	26%	35%	0.7	-0.7	-0.4	43.3	2.2
ホワイト ファイバー	真野 (石巻)	8.3	-	-	243	-	-	1.0	-	-	41.1	-
	大曲 (矢本)	7.7	-	-	478	-	-	0.5	-	-	52.7	-
シラネコムギ	太田 (桃生)	11.0	79%	86%	275	44%	40%	0.1	-0.1	-0.2	38.1	3.8

### 3 今後の管理

#### (1)「麦踏み」～ほ場が乾いている時に、茎立ち前までに行いましょう！～

- ◆ 麦踏みは、融雪後、**茎立ち前(主稈長2cm程度で、幼穂長2mm程度)まで**に行いましょう。
- ◆ 土壌が湿った状態で麦踏みを行うと、土壌が固く締まり、根の伸長阻害や排水性悪化の原因となります。  
**作業は、必ずほ場が乾いた状態で行い、**ほ場が乾かないうちは無理に行わないようにしましょう。
- ◆ 湿害によって葉の黄化や生育量不足が著しい場合や、鳥類による食害が見られる場合には、効果が十分に得られないので、麦踏みを行う必要はありません。

#### (2)「追肥」～幼穂長を確認し、適期追肥に努めましょう！～

##### ① 株直し追肥 … 生育量不足、葉の黄化、鳥害からの回復

- ◆ **融雪後の生育量が小さい場合(㎡当たりの茎数が400本以下、図3参照)や、葉の黄化が著しい場合等**に、N(窒素)成分で1～2kg/10a程度施用します。茎数が多く、葉色の低下も見られないほ場では不要です。
- ◆ **鳥類による食害の著しいほ場**では、融雪後ほ場に入れるようになったら、新葉の生育促進のため株直し追肥を行いましょう。施用量はN(窒素)成分で1kg/10a程度が目安です。



図3 茎数の目安 (シュンライ、条間30cmの例)

50cm

##### ② 幼穂形成期追肥(追肥時期:幼穂長約2～3mm) … 穂数の増加

- ◆ 麦類は幼穂長が2mmを超える頃から茎立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、**この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。**その一方で、過剰施用は節間伸長を助長し倒伏の原因となるので、**適期・適量施用に努めましょう！**
- ◆ 追肥一発型肥料は、大麦においては、株直し追肥、又は幼穂形成期追肥のうち1回目の追肥時期に施用し、それ以降の追肥を省略できると考えられます。

表2 追肥の施用時期と施用量の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期	シュンライ、ホワイトファイバー ミノリムギ 2月下旬～3月中旬	4月中旬	—
	10a当たり 施用量	3月上旬～4月上旬	4月下旬～5月上旬	硬質麦防止のため 実施しない
小麦	時期	3月下旬～4月中旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分5kg (硫安24kg)	シラネコムギ 窒素成分2.5kg(硫安12kg) 夏黄金 窒素成分5kg(硫安24kg)

※ 時期は平年の場合の大よその目安であり、実際には現地ほ場の幼穂長を見てから追肥時期を判断しましょう。

### (3) 雑草防除～ 雑草の発生状況に応じて、除草剤(茎葉処理剤)の散布を検討しましょう～

表3 土壌処理剤と茎葉処理剤を使用した防除体系

月		10月	11月		2月	3月	4月	5月
生育 ステージ	大麦	播種	出芽			幼形期	減分期	出穂期
	小麦	播種	出芽			幼形期	減分期	出穂期
除草剤		土壌処理剤			茎葉処理剤			

注意: 幼穂形成期及び節間伸長期を過ぎると使用できる除草剤が少なくなるので、  
**適期に防除しましょう!**

ハーモニーDF(広葉、スズメノテッポウ)  
バサグラン液剤(広葉)  
MCPソーダ塩(広葉)

表4 茎葉処理剤の適用情報

除草剤名	作物名	対象	使用方法	使用時期	使用回数	作用機 構分類	希釈倍数使用量 (散布液量)
ハーモニーDF	小麦 大麦	スズメノテッポウ 一年生広葉雑草	雑草茎葉散布 または全面散布	播種後～節間伸長前	1回	HRAC:2	5～10g/10a (100L)
バサグラン液剤	麦類(小麦を除く) 小麦	一年生雑草 (イネ科を除く)		麦類の生育期(雑草3～6葉期) (但し大麦収穫90日前まで、小麦収穫45日前まで)	1回	HRAC:6	100～200ml/10a (70～100L)
MCPソーダ塩	麦類	一年生及び多年生広葉雑草		幼穂形成期但し収穫45日前まで	1回	HRAC:4	200～300g/10a (70～100L)

※令和8年2月17日の農薬登録内容を基準に作成しています。農薬散布を行う場合は事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。また、農薬使用の際には飛散防止対策を講じてください。農薬使用の際には薬剤の使用回数と含有する成分ごとの使用回数に注意してください。農薬使用に先立ち、ラベルの表示事項を必ず読み、安全使用上の対策等について確認してください。

### 【土壌処理剤だけでは抑えにくい雑草】

#### 出芽期間が長い

カラスノエンドウ



東北以南・畑・秋生・種子

ヤエムグラ



東北以南・畑・秋生・種子

#### 春先に急成長

タデ類



全国・水田+畑・春生・種子

シロサ



全国・水田+畑・春生・種子

(診断に基づく小麦・大麦の栽培改善技術導入支援マニュアル(総合版)農研機構2020より)

☆ 「ハーモニーDF」は節間伸長前の散布が効果的です(一年生広葉雑草、スズメノテッポウ)

- ・大麦の茎立ち期頃から発生する一年生広葉雑草発生量が多いほ場においては、土壌処理剤効果も期待できる茎葉処理剤「ハーモニーDF」を節間伸長前に10g/10a(希釈水量100L)散布することで、その後の雑草発生密度を低下させることが期待されます。